

経験豊富な役職者から多くを学び
県民の目線で政策形成に取り組める職員を目指す。



愛知県庁
政策企画局秘書課

富田 巧 さん (経済学部 2018年卒業)

私の地元の愛知県は経済が活発で、ジブリパークの開園、アジア大会、リニア開通など日本全体を盛り上げる取り組みによってさらなる成長が見込める県です。ここでなら前向きな気持ちで仕事ができると考え、県庁を志望しました。現在の主な業務は、知事の日程調整です。県庁内各部署や外部からの依頼をとりまとめ、スケジュールを調整・管理するこの仕事は、関係各所に伝える情報の正確さ、わかりやすさが強く求められるもの。大学のゼミナール活動で、企業の戦略的行動をチームで分析し、論文を作成したこと、その内容を正確に伝えるためにプレゼンテーションの工夫をした経験が、情報を整理してわかりやすく伝えるこの仕事に活かしています。経験豊富な各部署の職員と関わる機会にも恵まれているので、そこから多くを学び、将来は、県民の目線で政策形成に取り組める職員を目指します。

2014年、経済学部に入學。2回生でオーストラリアに短期留学。産業組織論のゼミナールに所属、ゼミナール大会では審査員特別賞を受賞。2018年卒業後、愛知県庁に入庁。県税事務所を経て、現在は政策企画局秘書課で県知事の日程調整業務などに当たる。

顧客に変革をもたらし、成長に向かう変化に
立ち会うことが現職のダイナミズム。



株式会社日立製作所
金融システム営業統括本部 金融営業第三本部 第二部

中島 侑香 さん (経済学部 2019年卒業)

学生時代はサークルに所属し、企業が運営するカフェとのコラボにより、集客を目的としたスイーツの商品企画やPRを経験しました。結果、若者の来店とスイーツの売上げが増加。より大きなスケールと高度なIT技術で「顧客の可能性や選択肢を広げたい」と考えるようになり日立製作所に入社しました。現在は営業職として複数部署との協働を通じ、大手金融機関のシステム基盤を支えています。より良いサービスを提供するには顧客と社内、相互の主張や背景を理解して交渉を進め、合理性を持って物事を進めることが重要です。ゼミナールでの論文作成で学んだ「問題意識に対する問いを立て、仮説を立案検証・分析し、解決策を提言する」という思考プロセスが、現職での交渉や課題解決に役立っています。顧客が気づいていない課題に光を当て、社会がより良くなるような変革に尽力したいと考えています。

2015年、経済学部に入學。2016年、産業組織論のゼミナールに所属。2017年、カナダへの1か月間語学研修に参加。複数の大学の学生が所属するインカレサークルに入会。2018年4月以降、同サークルでスイーツの商品企画・PRを実施。在学中にゼミナール大会にて優秀賞を2度獲得。2019年卒業後、日立製作所に入社。営業職として大手金融機関のシステム基盤を支える。

立命館大学 経済学部

College of Economics | Ritsumeikan University



2023



経済学部の入口をのぞいてみよう

「経済学ってなんか難しそう」「経済学部で学びたいな!」に変えることができるきっかけとなる、模擬講義動画を掲載しています。このパンフレットを読んでいただき、少しでも経済学に興味を持った方は、経済学の入口に一步踏み出してみませんか?

www.ritsumei.ac.jp/ec/lecture/



入試情報

入試の最新情報は「立命館大学 入試情報サイト」をチェック

ritsnet.ritsumei.jp/



経済学部ホームページ

教員一覧、経済学部の活動など最新情報はこちら

www.ritsumei.ac.jp/ec/

*感染症対策をおこなった上で撮影しています。また掲載している写真は2019年度以前のもも含まれます。

高校に入試説明会や模擬授業に行くたびに感じてしまう「違和感」があります。

それは、多くの高校生のみなさんが、経済って自分たちとは関係ない別世界のことだと思っている「ふし」があることです。多分、為替とか貿易とか株価とか景気とか、そういうのが経済って思っているのではないのでしょうか？ だから経済って、ニュースとかに出てくる話で、自分たちには関係ない、と思ってしまうのではないのでしょうか？

実は、それは単なる思い込みなのです。確かに、為替、貿易、株価、景気というのは経済に関連することです。でもそれだけではないのです。みなさんが小さいころから過ごしてきた生活の中に、経済は息づいているのです。

たとえば、みなさんは小学生ぐらいから、月*円という形で、おこづかいをもらっているのではないのでしょうか？ もらった

金額の中で、食べ物や飲み物や文房具やコスメなんかを買っているのでは？ そのときに、自分にとって要らないものや、好きでないものを買ったりしないですよね？ とてもおこづかいではまかなえないような、高額なモノも買ったりしないはず。逆に、お小遣いの範囲内で手に入るモノの中で、欲しいモノを買っているのではないですか？

何を当たり前のことを書いてんの、と思っているかもしれません。しかし、このようなおこづかいのやりくりすることこそ、立派な経済活動なのです。経済は英語でEconomyといますが、そもそも語源は「家計をやりくりすること」です。

だから、みなさんは小学生のころから、経済活動に「従事」しているのです。会社のさまざまな活動も、国の色々な活動も、結局は、おこづかいをやりくりすることと変わりません。会社では、手持ちの資金

の範囲内で、どんな商品をどれだけ作るかを考え、そのためにどれだけ人を雇って、どんな規模の工場を建てるかを考えます。国だって税金で集めた予算の範囲内で、どんなことにどれだけお金を使うかを決めています。そういう意味では、おこづかいの使い方を考えるみなさんと同じですよ、会社も国も。

さて、みなさんのおこづかいの話に戻りますね。みなさんはおこづかいの前借りという経験はありませんか？

どうしても欲しいものがあるけど、手持ちのお金では少し足りない、そこで来月分のおこづかいを前借りするって経験はありませんか？ 今月使えるお金が増える分、来月使えるお金は少なくなりますよね。こういう時って立て替えてもらうことが多いので、ちゃんと「**円前借りしました。」ってメモを残すように親御さんに言われたことはありませんか？

これと同じことを国も行っているのを知っていますか？ 国は、今の国民のために使うお金を確保するため、将来の国民からお金を前借りしているのです。メモに当たる借入証を債券といます。このような債券は国が発行しているので国債と呼ばれます。

みなさんはお年玉を親御さんや祖父母や親せきの人からもらっていると思います。そして、もらったお年玉を貯金しておくという人も多いと思います。貯金するってことは、今、手持ちのお金があるのにあえて使わないってことです。人によっては、親御さんが管理されている場合もあるでしょうね。

じゃあ貯金したお年玉はいつ使うのか、それは、推しのアイドルのコンサートチケットが当たったり、友達とテーマパークに行くことになったときではないでしょうか？ つまり、今、手持ちのお金を使って何かを買わずに、将来、使う機会あるときに

使うわけです。おこづかいの前借りの逆パターンです。

これと同じことを国が行っています。おじいさんやおばあさんに聞いてみてください。「年金ってもらってる？」って。

おじいさんやおばあさんは、若いときに稼いだお金の一部を国に預けて、その時に使わずに、将来（老後）に使うためにとっておいています。これが年金です。お年玉を貯めて、いざという時に使うのと基本的には同じなのです。

このように、小学生のころからみなさんが経験していることと、企業や国が行っている経済活動って、根っここの部分は同じなのです。みなさんが、おこづかいを使ってモノを買ったり、前借りしたり、お年玉を貯金することと、政治経済の教科書の内容とが結びついていなかっただけなのです。

ただし、お金が絡んでいる経験だけが

経済ってわけではありません。経済活動って結局は意思決定なのです。なので、経済学は主に経済活動に関する意思決定の結果を研究する学問といっても間違いはありません。

グループワークや掃除当番などのチーム活動で、さぼるクラスメートをどのように対応したらよいのか？、クラスの委員長や生徒会長をどのような形で選出するのがよいのか？

といったものも、経済学と関係していて、研究がなされているのです。

どうでしょうか？ 自分たちの身近な経験が、経済活動そのものだということ、少なくとも経済活動と関連しているという事に納得してもらえたでしょうか？ 納得してくれて、もしほんのちょっとでも面白そうだった人は、ぜひ、人々の意思決定を分析する経済学部を、進路の一つの選択肢にしてくれば幸いです。



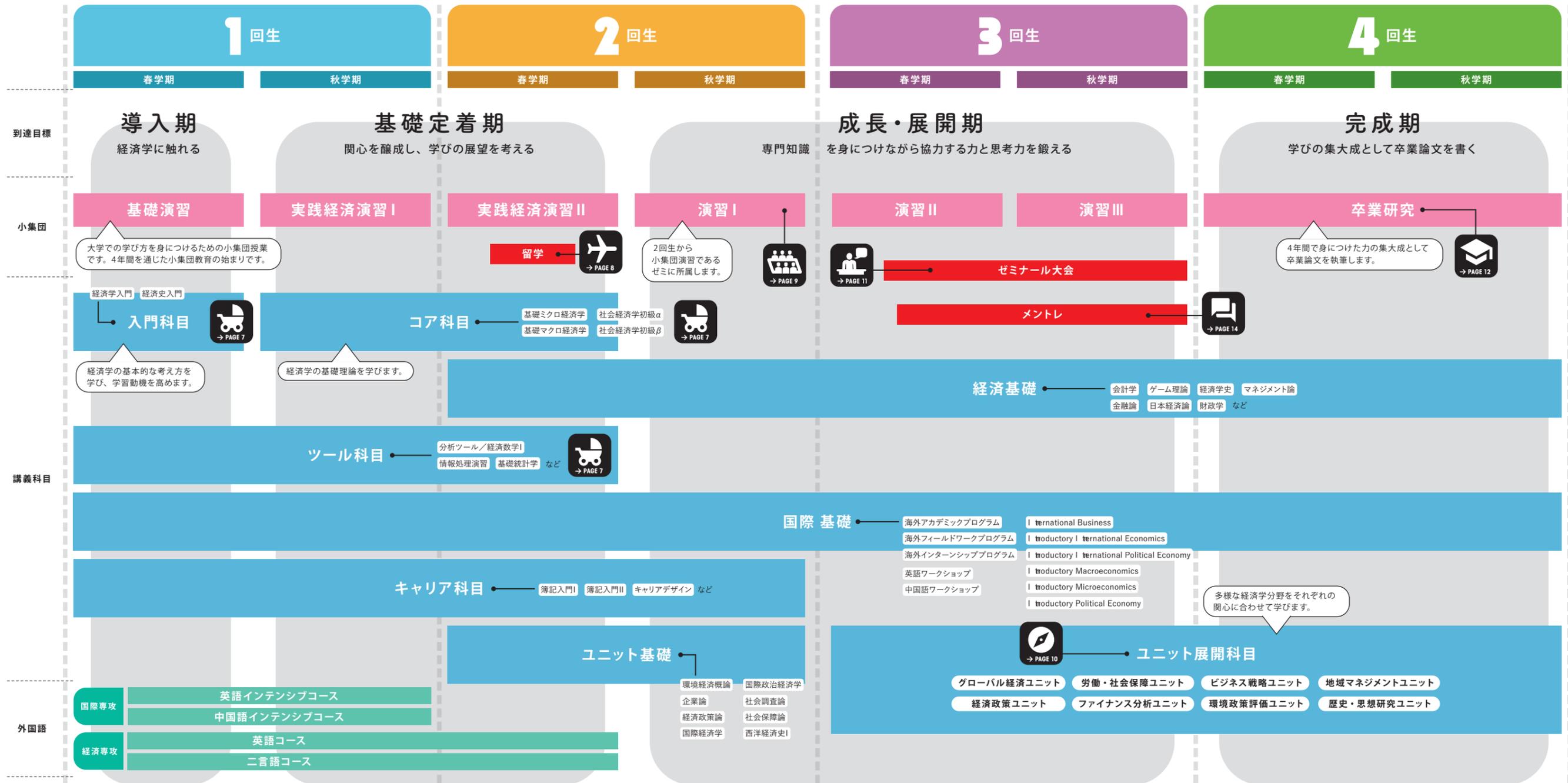
WHY ECONOMICS?
経済学部教員が、受験生のみなさんにとって身近なさまざまな謎「？」を経済学で読み解くエッセイを掲載していますので、ぜひご覧ください。



経済って、みなさんにとっても身近なコトなのです。

経済学部 の 4 年間

「多様性理解力」と「経済センス」を磨き、
国際社会で活躍できる力を培う。



大学生活の基礎を作る

大学生活にスムーズに移行できるよう、経済学部での学び方や経済学の基本的な考え方、外国語を集中的に学びます。小集団での授業を通し、大学生として主体的に学ぶ姿勢を身につけます。

国際専攻

Major in Global Studies

外国語 + 経済学教育 + 海外経験 で、

世界で通用する
国際人を育成する。

国際化した経済・社会に対する洞察力・分析力を養うべく、独自の外国語プログラムを展開し、海外留学や海外フィールドワークの機会を提供します。外国語教育では英語もしくは中国語を選択し、入学直後から現地で使える外国語を集中的に学ぶことができます。

外国語コース

英語インテンシブコース	英語
中国語インテンシブコース	中国語 + 英語

VOICE

外国語で話す機会も積極的に作っています

「基礎演習」でレポートの書き方を学び、「実践経済演習1」で先生のサポートのもと本格的なレポートを書いた経験は、今でもレポートを書く上での基盤となっています。大学は、高校までのように毎日同じクラスで授業を受けるわけではないので、少人数の授業は友達を作る上でもとても大切でした。

1回生の秋学期から履修可能な「基礎ミクロ経済学」「社会経済学初級α」の内容は、2回生、3回生での専門的な授業でも出てきます。1回生で両方履修して、2回生では「基礎マクロ経済学」「社会経済学初級β」を履修できるようにすることをすすめます。

経済学部では数式を使用する授業もあり、私は高校生の頃から数学が苦手だったので、もう少ししっかりと学んでおけばよかったと感じています。

将来は、さまざまな国の人と交流したいと考えています。そのため、exchange partner制度や外国語コミュニケーションルームといった大学の制度を利用し、積極的に外国語で話すようにしています。伝えたいことが言えないこともあります。周りの方々はとても優しく、私の意図をくみ取ろうとしてくれます。会話の中で心がけているのは、不明点をその場で解決すること。この姿勢は、学部の学びでも日常生活でも大切にしたいと思っています。



岡藤 蒼乃未 さん
経済学部3回生
山口県立下関西高等学校

経済専攻

Major in Economic Studies

理論 + 現実 + 実践 で、

現代社会の諸問題を
解決する人材を育成する。

社会生活の基盤となっている経済活動のメカニズムや市場の法則を解き明かし、より豊かな社会を創造していくために必要な考え方や手法の基礎を学びます。経済学を中心に法律や経営など他の社会科学や教養までを段階的かつ総合的に学ぶことができます。外国語学習では、英語コースもしくは二言語コースを選択し、外国語運用能力を高めます。

外国語コース

英語コース	英語
二言語コース	英語 + 初修外国語*

*中国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、朝鮮語から選択

VOICE

ゼミにつながる基礎知識を広く学ぼう

「基礎ミクロ経済学」は、経済学のどの分野を学ぶにも不可欠な知識だと思います。今、私が学習しているゲーム理論や産業組織論も「基礎ミクロ経済学」の知識が土台になっています。

「実践基礎演習1」を履修したことから、私は企業分析に興味を持つようになり、関連ゼミにも入りました。「基礎演習」や「実践経済演習1」で、グループ学習の班長としてメンバーの役割分担をしたり、話し合いで意見をまとめる経験を積んだことが、ゼミでの協同研究にも大いに役立っています。

「基礎統計学」「情報処理演習」は経済のデータを分析する上で不可欠な知識を学ぶ科目です。2回生以降は、計量経済学の学習やデータの回帰分析をする場合もあると思いますので、1回生からコンピュータやデータに慣れておくことをおすすめします。

3回生からは専門科目の学習が中心になり、論文を読む際に英語や数学が必要になることもあるので、1回生のうちから分からないことを早めに解決するなどしておいた方が良いでしょう。

ゼミでビジネスモデルの研究をしたり、キャリアセンターの企画に参加したりすることが、就職活動の準備につながると思っています。



今泉 佑介 さん
経済学部3回生
愛知県・名古屋市立菊里高等学校

基礎演習

経済学部では、一日でも早く大学での学習に慣れてもらうために、基礎演習という少人数クラスを用意しています。このクラスでは、レポートや論文作成に必要なスキル、たとえば、図書館の使い方やアカデミックライティングを、共通教科書を用いつつ学ぶ機会が提供されています。加えて、各クラスには、オリター*と呼ばれる上回生がサポーターとして大学生活全般を支援しています。



実践経済演習I

上記の「基礎演習」で培った成果を、2回生「実践経済演習II」や「演習1」（ゼミ）、3回生のユニットにおける系統履修につなげていく橋渡しとしての科目になります。具体的には、「アカデミックライティング」《further study 経済学入門》《統計分析》《英語・中国語ワークショップ》《PBL (Project Based Learning)》《文献輪読》《プレゼンテーション》など、授業メニューごとのクラスに分かれて履修を行います。



経済学入門

1回生になってまず受講するのが、経済学の基本的な考え方を学ぶ「経済学入門」です。この講義は、経済学の基本的な考え方を学ぶことを通じて、経済学の学問的発展に尽くした先人たちの偉業を知るとともに、現実の経済活動に興味を持てるようになることを目指すものです。



基礎ミクロ経済学・ 社会経済学初級α

経済学部生として、最低限身に付けなければならない経済学の基礎理論を系統的に学ぶ科目です。経済学部では、「コア科目」と呼ばれる授業であり、2回生からは「基礎マクロ経済学」「社会経済学初級β」（P.4参照）の履修を行うことができます。



情報処理演習

情報処理演習は大学での学習を円滑に行うために必要となる情報処理関係の基礎知識を体系的に学び、経済統計分析の基礎知識を身につけるための授業です。実際にパソコンを操作する実習形式の授業で、パソコンの基本的な使い方やデータ処理技術を習得します。



基礎統計学

統計資料の利用は、私達が現実の経済社会を把握する上で、重要な手段です。それぞれの統計資料は固有の特徴をもっています。実際に接する統計資料によって何が得られるかを理解するためには、与えられた統計を眺めるだけでなく、統計の利用の重要性と限界を認識することが必要になります。本科目は、そういった新聞・雑誌・書籍等で用いられる統計資料の読み方と利用方法の基礎を学ぶことを目的とした授業です。



オリター制度とは？

立命館大学は、学生相互の支援「ピア・サポート」が盛んな大学です。その中でも、オリター制度は、学習や学生生活の面から、先輩である上回生が新入生に支援を行う制度です。全国、そして世界から学生が集まる大学だからこそ、互いに学び合うことのできる立命館大学の伝統として根付いています。新入生の仲間作りのサポートを始め、学習や学生生活全般に関する相談に乗ってくれるので、スムーズに大学生活をスタートすることができます。



海外へ視野を広げよう

1年生で身につけた語学力を活かし、海外に視野を広げ、経験を積んでもらう時期です。経済学部では多様性を理解する力や国際感覚を身につけるための機会を多く用意しています。



経済学部生のための独自留学プログラム

海外アカデミックプログラム

海外の大学などで外国語を集中的に学ぶとともに、現地経済事情について、外国語で学ぶことができます。プログラムへの参加を通じて国際分野で通用するコミュニケーション能力や専門性を身につけます。

派遣先国	派遣先機関
オーストラリア	ホーン・メルボルン英語学校
ニュージーランド	マッセイ大学
アメリカ	ポートランド州立大学
中国	大連外国語大学
中国	東北財経大学

*派遣先はすべて2022年度の予定です。

海外フィールドワークプログラム

経済学部で学んだ知識を活用し、海外で調査・研究・発表に取り組みます。現地の人々と触れ合いながら、プログラムごとに設定されるテーマ（地域格差は正やツーリズム、環境と開発など）に関するフィールドワークに取り組みます。

派遣先国	派遣先機関
タイ	タイ国立開発行政研究院 他
英国	JETRO（日本貿易振興機構）、 在英日本大使館 他
中国	上海対外経貿大学 他

海外インターンシッププログラム

日本企業・団体の海外オフィスや現地企業で実施するインターンシップです。多様な背景を持つ社員との就業体験や交流、世界の最前線のビジネス経験により、海外で働くことについて体験的に考えることができます。

派遣先国	派遣先機関
アラブ首長国連邦	日系・現地石油開発会社

ゼミで経済学を探検する



ゼミ活動を通して、自ら課題を発見し、主体的に問題解決に取り組む力を磨きます。



ゼミ紹介#01 | 篠田ゼミ

どうして税金を納めているのに安心して暮らせないの？

コロナ・パンデミックの下で、誰もが財政の役割についてあらためて考えさせられることになりました。経済活動が機能しなくなると、私たちが頼れるのは財政だからです。また、所得格差と教育格差の連鎖を止めるのも財政の重要な役割の一つですが、皆さんのなかには奨学金やアルバイトなしでは大学生活を送れないという人も多いと思います。たしかに、日本財政は歳入の4割を公債金（国債発行）に頼っています。新たな支出を行おうとすれば、かならず「財源はどうするんだ」という議論が起こります。しかし、必要ときに助けてくれない財政を維持するために誰がすすんで税を負担しようと思うで

しょうか？ ですから、財政再建を自己目的化してしまっただけではいけません。社会のニーズと負担の公平性を問い、政策間のジレンマや社会の分断・対立をどう乗り越えていくかを丁寧に考えていく必要があります。ゼミでは、2年生から個人の研究テーマを持ってもらいます。他のゼミ生と指摘しあい、他大学との研究交流も行いながら、2年半かけて卒業論文を完成させます。互いの研究のつながりを意識しながら、税や財政の視点から、これからの経済社会のあり方を一緒に考えます。



篠田 剛 准教授から
受験生のみなさんへ

高校までは「正解のある問い」に答えることが求められますが、大学のゼミでは「問い」そのものを発見し、「正解のない問い」に答えていく力を養っていきます。ゼミでは学びの本来の楽しさを体験できると思います。

ゼミ紹介#02 | 峯俊ゼミ

地域経済活性化の手段としての観光振興

ゼミでは、人口減少に伴う地域経済の衰退という「地域で今まさに生じている問題」を扱い、観光振興という「地域で連携して問題を解決する方法」を探究しています。観光振興は、地域にとって「地域外から人を呼び込み、地域内での消費を活性化させ、地域経済を循環させる手段」です。しかしゼミ生には、まず手段ありきではなく、①「地域特性」を把握し、②「地域経済が抱える問題」を調べ、③両者の因果関係や相関関係を分析し、④地域への観光の関わり方を考える、を求めています。2年生「演習Ⅰ」では、自治体の地方創生に関する資料や統計データを使い、地域の特性や問題を把握します。作業は、「調べ、読み、まとめ、考察する」の繰り返しです。地味です

が、4年生での卒業研究へ向けた大切な準備運動となります。3年生の「演習Ⅱ」「演習Ⅲ」では、実際に地域で生じている問題の解決に向けて、企業・行政・ゼミによる連携プロジェクトとして取り組みます。2021年度は、和歌山県田辺市より出題された「シンガポール市場を対象とした特産品のビジネス提案」に挑戦しました。これは、地域産業をはじめ、訪日外国人旅行者分析に必要な海外市場を学ぶ機会になりました。2022年度は夏休みにゼミ研修旅行としてシンガポールを訪問する予定です。現地企業へ聞き取り調査を実施することで、「リアル」な海外市場を学ぶことができます。



峯俊智穂 教授から
受験生のみなさんへ

ゼミ活動の成果は、学会での会長賞や全国規模のコンテスト入賞など、学外でも高く評価されています。受賞はゼミ生の自信となります。そして、ゼミは「将来の地域経済と一緒に考える仲間」づくりの場となっています。皆さんも仲間の一員になりましょう。

VOICE

留学によって就職活動の方向性も決まりました

大学入学前から中国語を習得したいと思っていた私にとって、経済学部の留学プログラムはとても魅力的でした。

現在、中国の大連外国語大学にオンライン留学中です。授業では中国の文化や日常会話などを通して中国について学び、意見交換も行っています。オンラインという形ではあっても、多国籍の人と交流し、さまざまな国の文化や考え方に触れて多くの知識を得ることができるのは、留学ならではの経験だと思います。知識や言語力だけでなく、物事を多角的に考える姿勢も身につきました。

留学が始まり、海外の国や人が身近になったことから、国際的なニュースをよりしっかりと見るようになりました。世界の情勢はもちろん、自分の国について知っておくことも大切だと改めて感じています。

留学によって、中国語力や国際感覚を活かした仕事を志望するという就職活動の方向性も決まりました。その準備として、HSK（漢語水平考試）5級の取得に向けた勉強も続けています。



高木 彩名 さん
経済学部3年生
大阪府・大阪学芸高等学校

G-ALPs イベント

G-ALPs (P.15 参照) の一環として、留学生との国際交流、様々な国際キャリアで活躍する方の講演などのイベントを多数開催しています。



【過去の企画実績】

- 英語で語る、留学生の目から見た日本
- データ分析と国際協力
- 中国からの留学生との交流：多文化理解とコミュニケーション
- フランス留学からのキャリア形成
- 気候変動に適應できるか
～カーボンニュートラルに向けた滋賀県の挑戦
- 新卒から新規事業を立ち上げるという生き方
- アメリカの大学生と交流する
- ウィズコロナ時代の留学のリアル～ドイツ、カナダの経験から

プロフェッショナルを目指す

多様な経済学分野を自らの関心に合わせて、深く学び、専門知識や論理的思考力を身につけます。



ユニット制 科目をパッケージして関心分野を体系的に学ぶ

関連性を持つ科目をパッケージ化したユニットで学び、自らの学びをデザインします。ゼミナールでの学修・研究と連動させながら学ぶことができます。研究テーマによっては、複数のユニットにまたがる学びが望ましい場合もあります。

歴史・思想研究ユニット

現代から将来を見渡す俯瞰的な視座を身に付けるため、経済史、経済学史を学び、歴史的な事例や経済学論争の考察を通じ、現代経済の諸問題の根源を考察します。

社会思想史 東洋経済史I
西洋経済史II 東洋経済史II



グローバル経済ユニット

国際間の経済関係と各国経済の多様性を理解し、グローバルな視野に立って国際的諸課題を考察し、解決提案できる力を養います。

アメリカ経済論 国際貿易論
国際開発プロジェクト・マネジメント 多国籍企業論



経済政策ユニット

経済政策に関わる理論、制度を学ぶとともに、データ分析や事例研究を通じ日本経済が抱える様々な問題の本質を洞察する力を養い、俯瞰的かつ理論的な視点から政策課題の解決策を提案できる力を養います。

経済成長論 貨幣・信用論
公共経済学 地方財政論



地域マネジメントユニット

市場経済では解決が難しい地域・コミュニティの課題について深く知るとともに、国土形成計画から地域振興まで、総合的視点に立った課題の解決方法を学びます。

観光経済論 都市・地域マネジメント
地域経済学 農業経済論



WHY ECONOMICS?



それぞれのユニットを
身近な「なぜ?」とともに紹介

労働・社会保障ユニット

人口減少と少子化・高齢化が日本社会にもたらす影響を踏まえながら、労働政策や医療政策、介護政策、年金政策などの社会政策に関わる諸課題を分析し、その解決手法について考察します。

医療経済論 地域福祉論
企業と雇用システム 労働経済論



環境政策評価ユニット

環境・公害問題の科学的な理解に加え、環境の経済社会的価値や環境政策の効果を評価するための分析手法の修得など、政府の環境・資源政策や企業の環境マネジメントに活用できる文理総合的な学びを行います。

環境経済学 環境法
環境経済評価論 食糧経済論



ファイナンス分析ユニット

資金の調達・運用・投資戦略などの理論を理解するとともに、金融市場の制度や政策に関する知識、企業財務や金融市場を分析する技術など、金融に関わる業務に必要な知識と技術を学びます。

金融市場分析実習 コーポレートファイナンス
行動経済学 リスク管理論



ビジネス戦略ユニット

経済学的視点から企業の意思決定理論を学ぶとともに、マネジメント、会計、法律などの多様な観点から経営戦略、企業組織をめぐる諸課題を分析します。

企業財務論 産業組織論
財務諸表論 組織と制度の経済学



ゼミナール大会 理論を身につけ、実践を通して研究成果を発表する

学生同士の知識の深め合いや研究意識の向上、また学部全体での研究力の向上を目標に、毎年12月に開催される学術イベントです。毎年200～300チームが参加します。日ごろの調査・研究の成果を論文としてまとめ、その内容についてプレゼンテーションと合わせてコンテスト形式で評価されます。それぞれの発表の後には質疑応答の

時間も設けられ、会場は熱気あふれた雰囲気になります。自らが設定したテーマについて徹底的に研究し、多くの人の前で成果を報告することにより、社会で役立つ問題発見・分析・解決の能力、プレゼンテーション能力を養います。



STEP 1：分科会（予選）

200～300チームが参加し
調査・研究成果を競います



STEP 2：優秀者発表会

選ばれた約10チームが
プレゼンテーションを披露します



STEP 3：表彰式

調査・研究力、プレゼンテーション力に
秀でた発表が選ばれます

過去ゼミナール大会テーマ例

ビジネスホテルの価格変動について

大手カメラメーカーはミラーレスカメラ市場に参入すべきか
～参入時期の違いにみるキャンボンとニコンの戦略分析～

GVCにおける能力向上と知識移転

再生可能エネルギーと地域付加価値

即決価格が設定されたオークションの
制限時間の延長効果

集積の利益に基づく東京一極集中の可能性
～都道府県別産業別の付加価値額と雇用密度に着目した重回帰分析～

高度経済成長期における新産業都市の展開
～大分県大分市を事例に～

食料に対する「権原」と食品流通
-インドの事例から-

計画的消費税率変動制による外食産業効率化の可能性
-oTreeを用いた経済実験による検証-

緑茶市場における企業の生産過程の違いについて

VOICE

変動価格制導入による 高速道路の 交通需要マネジメント



滝澤 周平 さん
経済学部4年生
北海道・函館ラ・サール高等学校

ゼミナール大会では、道路混雑という長年の課題を解決する「首都高速道路における交通需要マネジメント」についてチームでの研究内容を発表しました。道路混雑による経済損失を明らかにした上で、高速道路の通行料金に変動価格制の導入を提案し、料金モデルも作成、検証したものです。先行研究がなく、どのような客観的評価がいただけるか不安でしたが、異なる研究分野の先生からも高い評価を得て、優秀賞をいただくことができました。

準備段階では、通常の学業と研究活動、さらには就職活動との両立が大変でした。私はリーダーとして頻繁に全員で話し合う機会を設け、一人ひとりの現状を把握して、チームの能力を最大限発揮できる環境作りに努

めたつもりです。

オンライン開催のため、聞き手の立場に立った発表にすることを特に意識しました。高度な経済学的手法を多用した研究でしたが、専門的な用語は最小限におさえ、画面の向こうの聞き手に質問を投げかけるスタイルで、話し手と聞き手が一体となるよう配慮しました。練習を重ねた結果、最高のプレゼンを行うことができたと思います。共に困難を乗り越えたメンバーは、今後の人生においても大切な仲間になりました。

卒業後は食品メーカーの財務職に就く予定です。大学での学びを活かして財務のスペシャリストを目指すことはもちろん、将来は海外のグループ会社の管理本部長としても活躍したいと考えています。

4

回生の学び

培った力で未来へ羽ばたく

4年間の学びの集大成として、卒業論文を執筆し、社会に羽ばたく準備を行います。



卒業研究

4年間で身につけた力の集大成

卒業研究では、みなさんの興味関心に沿ったテーマを選定し、卒業論文を作成していきます。洞察力を用いて、より良い問いを立てて、テーマを選定し、俯瞰力を用いて、論文の構成を決定します。そして、分析力を用いて、論文の内容を緻密にし、論理・表現力を用いて、説得力のある文章を執筆します。このように、4つの力の集大成が卒業論文なのです。



経済学部で身につく4つの力

「自ら問いを立てて分析できる」人になってほしい。これが経済学部教員の思いです。そのための機会となるカリキュラムを用意しました。もちろん、カリキュラムの学習だけでなく、大学生活を送る中での様々な体験も、積極的に取り組めば、そのような人になるための一助になるでしょう。このような人になるためには、どのような力をつければよいのでしょうか？それは次に示す四つの力です。

分析力

経済学独自のものの見方や考え方、統計分析のためのスキルを駆使して、緻密に考えることができる力

論理力

分析力に基づいて、物事を客観的にみることができる、加えて理屈で物事を考えることができる力

俯瞰力

論理力が身につくことで、ある事象と別の事象とは、ある着眼点から似ているのではないかという風に、物事を大づかみにとらえることができる力

洞察力

俯瞰力を手に入れることで、物事の本質を見抜くことができる力、ひいては、今後どのようになるかを先読みすることができる力

3年生の段階では、分析力や論理力は、そこそこ身につけているものの、俯瞰力や洞察力は身に付き始めているレベルだと思います。そこで、それらの力を定着するために必要なものが卒業論文です。

卒業論文の執筆には、上記の4つの力が必要不可欠です。卒業論文の作成に試行錯誤する経験を通じて、分析力や論理力を確かなものにし、俯瞰力と洞察力を身に付けて社会へと巣立ってほしいと願っています。

VOICE

将来は、企業の行動が社会にもたらす影響を分析したい

荒木 怜 さん
経済学部4年生
兵庫県・蒼園高等学校

ミクロ経済学、マクロ経済学、ゲーム理論など理論経済学の授業と、基礎統計や計量経済学など統計を学ぶ授業を通して「分析力」を身につけることができました。経済新聞のマーケット記事を用いて、どのようなメカニズムでどのように市場が機能しているのかについて自分なりの分析もしています。

ゼミの時間に教科書を読み返すことによって「論理力」が身につくようになってきていると感じています。経済学では「○○という前提なら△△という結果が得られる」というのが定石。身につけた「分析力」を使い、コツコツと考え抜くことによって「論理力」が身につくのだと思います。新聞記事もただ読むだけでなく「どうして金利が上がったのか?」「どうして円安になったのか?」と、その要因を考え、将来の予測も行うようになりました。

日本経済史や西洋経済史の授業によって、歴史を見る時には鳥の目(「俯瞰力」)と虫の目、社会全体と個人の目線で考える。そのきっかけを得ることができたのも貴重な経験でした。また、ゼミやゲーム理論の授業で、一見不合理な企業の戦略や行動も、目的のためにあえて選択された行動だということ学んだのは、物事の本質を見抜く「洞察力」を身につけるきっかけになりました。



映画、ゲーム、音楽など、ネット上で購入が可能なデジタル財に関して、公式サイドが無料で配信を行う場合があります。広告効果が期待できる一方、失う売上もあるでしょう。私はこのことに関心があるので、卒業論文では、プラスの効果とマイナスの効果、どちらが大きいのかについて分析しようと思っています。

将来的には、企業の行動が社会にどのような影響をもたらすのかについて、公正取引委員会で分析したいと考えています。今は大学院進学のための勉強をしたり、計量経済学や産業組織論の勉強を始めようとしているところです。

ゼミと、キャリア支援カフェの活動が4つの力をつけることにつながった

清水 くるり さん
経済学部4年生
滋賀県・立命館山高等学校



正課においてはゼミでの学び、正課外では学内のキャリア支援カフェでの活動。この両方が「4つの力」を身につけることにつながりました。

ゼミで学んだ企業の戦略について「なぜその戦略をとるのか」を仲間と共に分析したことが「分析力」を身につけるきっかけでした。その研究内容をゼミナール大会で発表するために論文を執筆したことによって「論理力」も身につきました。執筆中、テーマに対する仮説の整合性を提言しきれずにいた時、先生からの助言によって「俯瞰力」も身につけることができました。先生から新たな着眼点を示していただくことによって新たな仮説とその整合性を証明することができたからです。多角的な視点から慎重に検証する姿勢の大切さも学びました。

キャリア支援カフェの活動では、ゼミで培った「分析力」を活かして顧客の行動データを分析し、集客目標達成に向けた集客施策を考え抜くという貴重な経験をしました。経験から導いた主観的視点と、調査から得た客観的視点のバランスを保った思考ができたのは、論文執筆で身につけた「論理力」のおかげだと思います。カフェでは学生向けの就活支援イベントも企画・実行しました。就活への関心が低い1~3年生を集客するにあたっては、他団体のイベント内容や告知方法を「俯瞰力」で客観的に研究。集客に成功することができました。

卒業論文のテーマは「同じ業界の中でプライベートブランド展開を行う企業と行わない企業があるのはなぜか」にする予定です。「なぜ○○は~を行うのか」だけではなく、あえて「『選択しない』戦略」の動機を検証することによって、企業行動への理解を一層深め、合わせて「洞察力」も身につけたいと考えています。キャリア支援カフェでも、市場が変化した後も成功し続けられるように、「洞察力」を活かして振り返りと予測を同時に行うことが大切だと後輩に伝えたいと思います。

私の目標は「『自分も頑張ろう』という気持ちになれる番組を届ける」こと。卒業後は、テレビ局の局員として生涯活躍し続けたいと考えています。

希望の進路を切り拓く

経済学部ではキャリア教育に注力しており、学生がそれぞれの希望の進路に進むための支援を行っています。

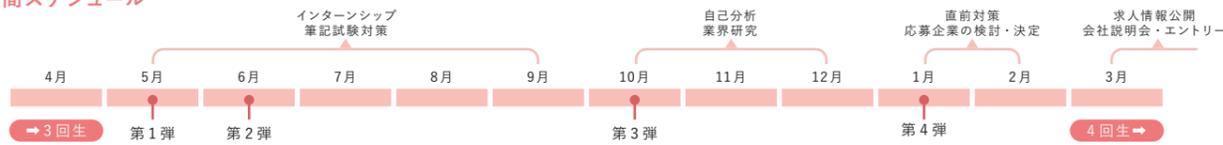
メントレ

経済学部就職活動応援企画

社会の第一線で活躍する卒業生と協力し、学生の就職活動を組織的に支援します。

「自己の価値を社会の中でどう活かすか」について考える経済学部独自のキャリア企画であり、年間を通して実施しています。とくに、例年1月に開催されるOBOG面接会では、経済学部同窓会の支援のもと、2日間にわたって全国から100名以上の卒業生を招き、自己分析の深掘り、エントリーシートの添削、面接の指導を行います。先輩だからこそできる熱心な指導により、参加者は就職活動において抜群の成果をあげています。社会の第一線で活躍する卒業生と協力し、学生の就職活動を組織的に支援しています。

年間スケジュール



メントレ第1弾

学びと就職活動 編



学びと就職活動の関係性について学びます。

メントレ第2弾・第3弾

学びと自己分析 編、学びとES 編 など



大学での学修という視点から、自己分析の仕方やES（エントリーシート）の書き方について学びます。

メントレ第4弾

学びと実践 編（OBOG面接会）



卒業生約100名を招き、2日間にわたって模擬面接や、ES（エントリーシート）作成の指導を行ってまいります。

※過年度の例です。実施回数・内容は年度によって異なります。

VOICE

自己分析の甘さを実感してレベルアップができた



岡庭 光佑 さん
経済学部4回生
神奈川県立光陵高等学校

就職活動に関する情報があふれる中、よりリアルティのある情報に触れたくてメントレに参加しました。先輩の経験談を聞くのは自分の就職活動を見直す良い機会になるとの期待もありました。

特に印象に残っているのは、OBOG面接会です。2日間、OBOGの方を相手にひたすら面接練習をする中で、自分が伝えたいことを言語化する方法や、面接での立ち振る舞いを体に染みこませることができたからです。自分では気づかないような話し方の癖や直すべき点を何度もフィードバックしてもらえたことで、回数を重ねるごとにスムーズに話せるようになっていく実感もありました。人の面接を見て良い点を見習うなど、学生

同士で互いにレベルアップできたのも良かったと思います。

メントレは、自分の自己分析の甘さを実感する機会でもありました。自分への理解が進んだことは、その後の面接で大いに役立ちました。社会人の先輩に悩みを相談できたのもありがたかったです。

将来にわたって武器になるスキルとしてITに携りたいと考え、応募した企業に内定をいただきました。人々の活動をITの面から支えるのが将来の目標です。海外拠点のポストにも積極的にチャレンジし、さまざまなキャリアを通じて自分の可能性を広げたいと考えています。

専門キャリアプログラム

高度な専門性を求められる分野に関して、専門的キャリアの意識付けを行うために、2つのプログラムを設置しています。学びの集団を形成し、難関試験に挑む学生を支援します。

財務・会計プログラム

公認会計士や税理士、国税専門官、企業の財務担当職など高度な専門職を目指す人材を養成するプログラムです。簿記3級・2級の資格取得を目指す正課科目を用意しており、会計系難関資格取得へのステップアップも可能です。また、税務・会計のスペシャリストを養成する大学院経済学研究科「税理・財務コース」への進学の道も選択肢となります。

公務・行政プログラム

行政において求められる知識と能力を高めるとともに、高い志を持って公務に携わることが出来る人材を養成するプログラムです。学内で開講されるエクステンションセンター主催の公務員講座と連携しながら、国家公務員や地方公務員等の進路を目指します。学修状況に応じて、一部の講座を特別奨励生として受講することも可能です。

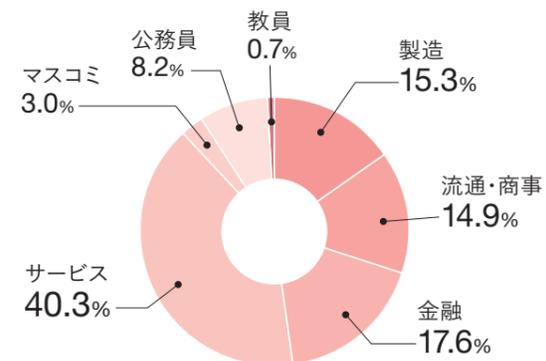
体系的な国際教育 G-ALPs | Global and Active Learning Programs

G-ALPsはグローバルな視野を持って自らの目標（=峰）に挑戦する学生を支援する経済学部の国際教育プログラムです。正課授業では、外国語科目はもちろんのこと、経済学の専門科目についても英語や中国語で学べるカリキュラムを用意しています。さらに、経済学部独自の海外留学プログラムについても充実化をはかっています。また、正課外の取り組みとしては英語ディベートや国際的なキャリアを意識した講演会、オンラインでの国際交流等を予定しており、正課内外において学生を支援します。



就職状況

2021年度卒業生 業種別進路決定状況



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。
◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

2021年度大学院進学先例

立命館大学大学院	クイーンズランド工科大学大学院（オーストラリア）
東京大学大学院	モナッシュ大学大学院（オーストラリア）
京都大学大学院	サセックス大学大学院（イギリス）
青山学院大学大学院	

2021年度公務員決定者数

国家公務員: 13名 (総合職(農林水産省)、一般職、国税専門官、裁判所職員(一般職))

地方公務員: 33名 (滋賀県、京都府、大阪府等)

2021年度公認会計士合格者数

15名(校友等含む) / 立命館大学* 50名(校友等含む) *全国6位 西日本私大1位

2021年度卒業生 進路・就職先一例

味の素(株) 有限責任 あずさ監査法人 SMBC日興証券(株) 大阪ガス(株) (株)キーエンス (株)滋賀銀行 (株)島津製作所 双日(株) ソフトバンク(株)	中部電力(株) (株)デンソー 東京海上日動火災保険(株) TOTO(株) 有限責任監査法人トーマツ トヨタ自動車(株) 西日本電信電話(株) 日本銀行 (株)日本政策金融公庫	日本通運(株) 日本郵政(株) 日本生命保険(相) 野村證券(株) (株)博報堂 パナソニック(株) 丸紅(株) (株)みずほフィナンシャルグループ (株)三井住友銀行	(株)三菱UFJ銀行 (株)ユニクロ 楽天グループ(株) (株)リクルート ローム(株) 国家公務員総合職 国家公務員一般職 国税専門官 地方公務員(上級職)
---	--	--	---